

【日本遺産】

シリーズ⑫

# 出雲國たたら風土記

## 鉄づくり千年が生んだ物語



地域に点在する文化や風習、文化財などを一つの「ストーリー」として文化庁が認定している日本遺産。そんな日本遺産に、たたら製鉄に関するストーリーが「出雲國たたら風土記」鉄づくり千年が生んだ物語」として認定されています。

ここでは、日本遺産の構成地域である安来市・雲南市・奥出雲町が共同して、日本遺産の構成文化財を紹介します。

### ■田部家土蔵群と吉田の町並み（雲南市）

田部家土蔵群は、吉田の町の中心部にある田部家の白壁土蔵群です。現代ではあまり見られなくなつた「なまこ壁」の重厚な建物が並んでいます。

田部家は、松江藩の三大鉄師の一つに数えられ、鉄を作り出すたたら場を町の周辺に複数所有していました。そこで生産さ

れた鉄を、本宅近くに設けられた大鍛冶の拠点で割鉄（包丁鉄）に加工し、製造から加工までを一体的に経営していました。周辺には、鉄の歴史を学べる「鉄の歴史博物館」や古民家を活用した「RTA雲南吉田」などがあり、町歩きも楽しめます。



▲田部家土蔵群（雲南市）

問い合わせ 観光振興課  
☎ 23-3110

### 関連情報はこちら

右下2次元コード：  
出雲國たたら風土記  
Instagram

左下2次元コード：  
鉄の道文化圏ホーム  
ページ



＝人権尊重社会の実現をめざして＝

シリーズ  
人権を  
考える 80

## 再出発する人の 背中を押す社会へ

～更生は一人ではできません～

### 再犯率の高さ

過去に犯罪を犯した人が刑期を終えて社会復帰した後も、問題を完全に解消できないまま再び罪を犯し、刑務所に戻る例は少なくありません。「令和7年度犯罪白書」によると、令和2年に出所した人が2年以内に再入所した割合は15.1%、5年以内では34.0%に上がっています。

出所時、多くの人は本気で更生をめざし、新たな人生を歩む決意をします。しかし、社会には本人やその家族に対する根強い偏見や差別があり、不当な扱いを受けることも多いため、社会復帰への道は非常に厳しい状況です。その結果、社会から孤立し、生きづらさを抱えることが再犯の引き金になっているとされています。

### 反省は一人、更生は…

罪を犯した人が刑罰を受けるのは当然ですが、刑期を終えた人には未来を生きていく権利があります。法務省のホームページには「刑を終えて出所した人たちが地域社会の一員として安定した社会生活を営むためには、本人の強い更生意欲と、家族はもちろん、職場や地域社会の理解と協力が必要です」と記されています。反省は一人でもできますが、更生は一人ではできないのです。

「社会を明るくする運動」では、毎年7月を「強調月間」とし、再犯防止の啓発に取り組んでいます。犯罪のない安全で明るい社会の実現のため、立ち直り支援の輪を広げることを目指しています。



▶令和7年度社会を明るくする運動安来市推進大会では、刑務所作業製品展示即売会を同時開催。

問い合わせ 人権施策推進課 ☎ 23-3095